

庄原市地域公共交通会議 第1回ワーキング会議

令和7年7月30日(水) 9:00~11:00

本日のワーキング会議の流れ

9:00～9:10	● 委員紹介 ● 開会あいさつ ● WGの趣旨説明
9:10～9:40	● 公共交通の現状説明 ● 庄原市における取組紹介 ● 意見交換(グループワーク)に関する説明
9:40～10:00	議題1についてのグループワーク
10:00～10:10	意見発表
10:10～10:35	議題2についてのグループワーク
10:35～10:50	意見発表・とりまとめ
10:50～11:00	閉会あいさつ・今後のスケジュール等

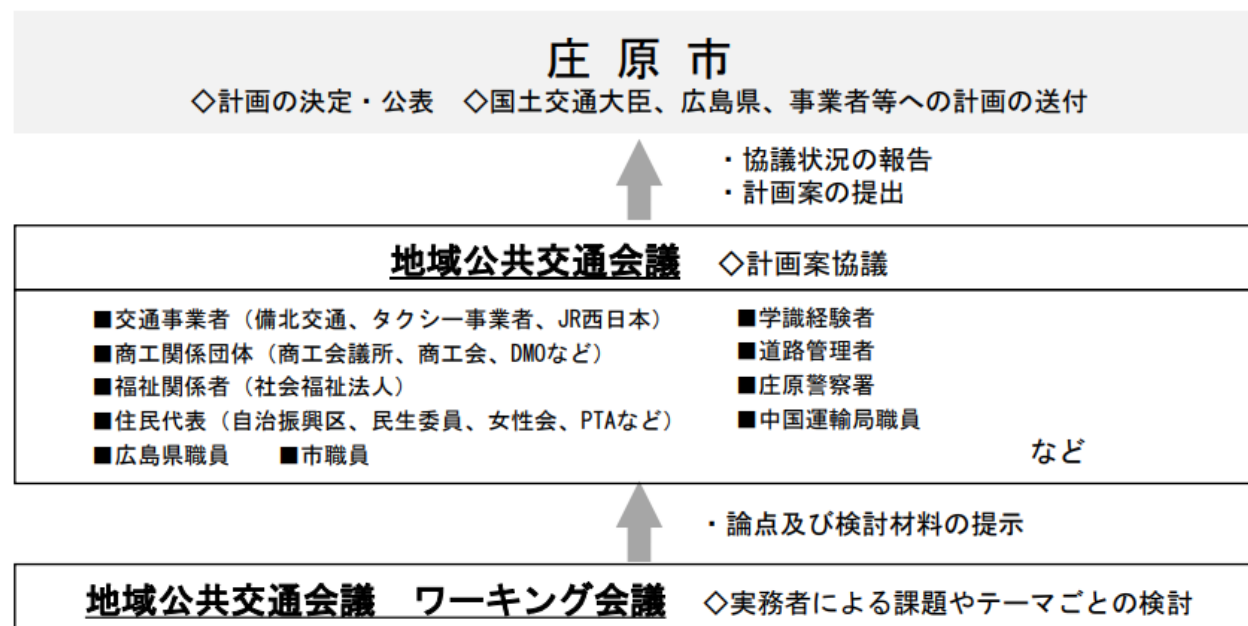
ワーキング会議の目的

新たな「**地域公共交通計画**」の策定に向けて、将来像や基本方針(譲れない軸・基準)を決めていくための材料を得るため、公共交通の役割(交通でできること)に対してのアイデア・意見を出し合うことで、「公共交通を使って実現したいまち・暮らし」のイメージを共有・具体化します。

地域公共交通計画とは

地域の実情に応じた持続可能な公共交通ネットワークを構築するための公共交通のマスタープラン

庄原市では令和2年3月5月に現計画である「**庄原市地域公共交通計画**」を策定しており**令和7年度は計画期間の最終年度**となります



▲ 地域公共交通計画の策定体制

まちづくりの方向性と 地域・公共交通の現況

第2期庄原市長期総合計画

本市の最重要課題
～人口の減少～

その影響

- (1) 行政効率の低下
- (2) 地域産業の衰退
- (3) 地域活力の減退
- (4) 生活不安の増大

第1期長期総合計画での検証
◆目標人口に対する実績(H27)
目標人口43,000人に対し、
実人口は37,741人
(平成27年10月1日現在 住民基本台帳人口)
◆深刻な問題の検証

- 人口の減少
- 基幹産業(農林業)の衰退
- 財政状況の悪化

が相互に影響し引き起こされる
食のスパイラル(悪循環の連鎖)
を断ち切ることが、引き続き本
市の命題となっている



基本理念 の視点

市民が主役

ふるさと

里山の力
暮らしに誇り

家族の絆
地域の絆

帰郷
にぎわい

家族への
愛情

地域への
愛着

基本 理念

みんなが大好きと実感できるまちづくり

将来像

美しく輝く里山共生都市
みんなが大好きと実感できる。しようばら

〈目標人口〉
32,700人以上
(平成37年国勢調査人口)

- ◆合計特殊出生率の上昇
- ◆年齢階級別の社会増減の改善

〈定住施策の考え方〉

- ◆新規転入(Uターン)への取り組み
- ◆本市出身者の帰郷定住(Uターン)への取り組み
- ◆出生と死亡の差(自然減)を縮小する取り組み
- ◆庄原に暮らす市民が住み続ける(転出しない)取り組み

長期ビジョン

機能を有する
拠点区域の形成

一体感の醸成と
一体的な発展

効果的な活用で
輝く広大な区域

家族愛・地域愛・
里山愛に
支えられた未来

基本政策

“絆”が
実感できるまち
【自治・協働・定住】

“にぎわい”が
実感できるまち
【産業・交流】

“快適な暮らし”が
実感できるまち
【環境・基盤・交通・情報】

“あんしん”が
実感できるまち
【保健・福祉・医療・介護】

“学びと誇り”が
実感できるまち
【教育・文化】

基本施策

- (1) 自治・協働の推進
- (2) 人権尊重社会の実現
- (3) 男女共同参画社会の実現
- (4) 定住の促進
- (5) 効果的・効率的な行政運営

- (1) 農林水産業の振興
- (2) 商工業の振興
- (3) 観光交流の推進
- (4) 多文化交流の促進

- (1) 生活基盤の整備
- (2) 生活環境の向上
- (3) 生活の安全確保
- (4) 環境衛生の充実

- (1) 子育て支援
- (2) 高齢者の自立支援
- (3) 障害者の自立支援
- (4) 地域福祉の向上
- (5) 健康づくりの推進
- (6) 医療の充実
- (7) 社会保障制度の適正運営

- (1) 学校教育の充実
- (2) 生涯学習・社会教育の充実
- (3) 芸術・文化の推進
- (4) スポーツの推進
- (5) 家庭・地域の教育力の向上

「生活交通の充実」を目指した施策として、主に生活交通ネットワークの再編や交通弱者の移動手段の確保、市民ニーズに応じた路線の確保、JRの利用促進等を総合計画でも掲げています。

庄原市都市計画マスタープラン（令和5（2023）年度～令和14（2032）年度）



都市圏	拠点	エリア設定
広域交流連携圏	都市拠点(庄原)	都市機能集積エリア
地域交流連携圏	準都市拠点(東城)	生活・自然共生エリア
地域交流連携圏	生活拠点(西城)	里山交流連携エリア
鉄道圏	地域拠点	自然環境保全エリア
自然環境圏		

図1 庄原市の将来都市構造

「基本理念」みんなが「好き」と実感できる都市づくり
 「将来像」美しく輝く里山共生都市ーみんなが「好き」と実感できる、しょうばろー
 「第2期庄原市長期総合計画」に掲げる「基本理念」と「将来像」の実現への寄与

目標 1 みんなが快適に暮らし、生活環境の充実したにぎわいと活力のあるコンパクトな都市づくり

目指すべき姿
 ○人口減少、少子高齢化に対応した誰もが暮らしやすいまち
 ○都市機能の集約・高密度化などにより、コンパクトで利便性の高いまち
 ○新技術の導入や転換による、利便性の高い公共交通ネットワークや情報ネットワークでつながる一体的なまち
 ○自家用車に依存しない市民が出会い交流できる居心地の良く歩きたくなるまち

目標 2 里山の地域資源や魅力を生かした、持続可能な都市づくり

目指すべき姿
 ○自然環境との共生に配慮した土地の利用による住みやすいまち
 ○環境に配慮した脱炭素社会のまち
 ○周辺の住環境等と調和し地域の個性と魅力を生かしたまち
 ○都市施設や公共施設の維持ができるコンパクトなまち

目標 3 人が生活しやすく、災害等への備えが充実し、住み慣れた地域で安心・安全に暮らせる都市づくり

目指すべき姿
 ○市民生活を支える機能の適切な誘導と集積による生活利便性の高いまち
 ○空き家や空き地等の利活用による生活環境の充実や地域活性化につながるまち
 ○バリアフリーなどに配慮した道路環境などが充実した誰もが住みやすいまち
 ○防災・減災に向けた多様な対策がとれた安心・安全に暮らせるまち

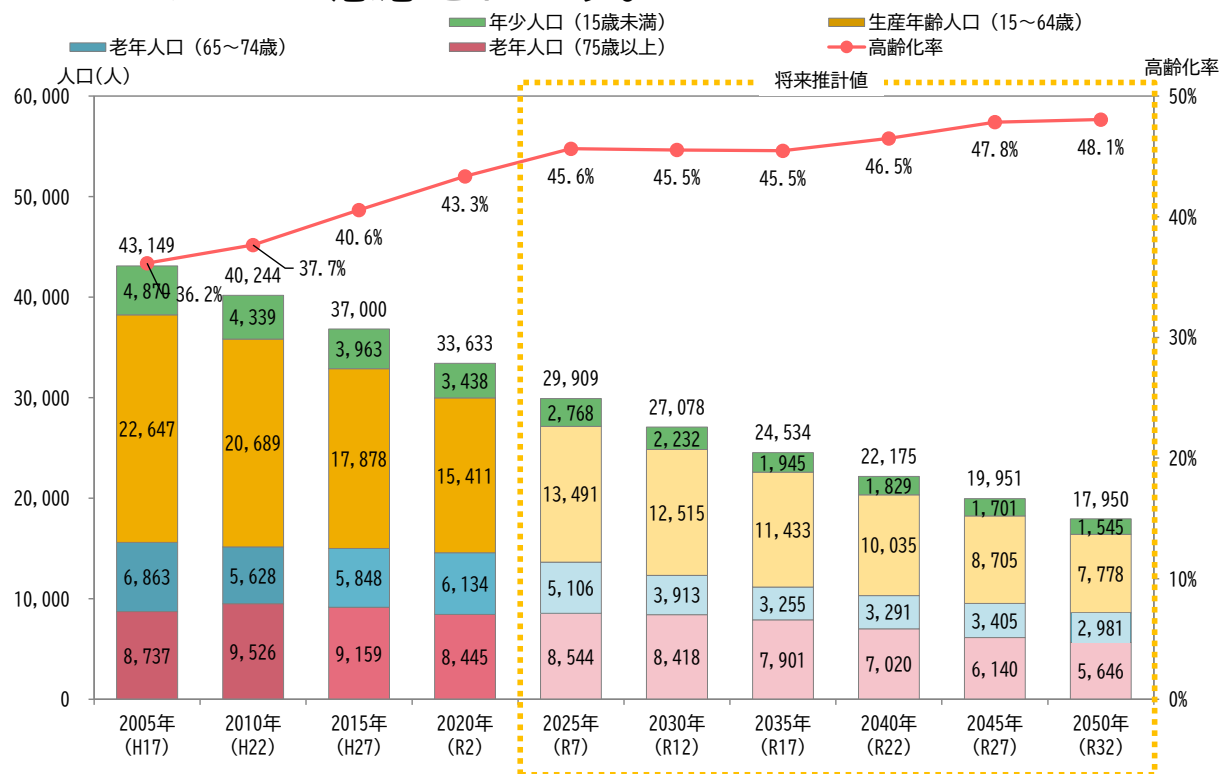
目標 4 地域に愛着を持ち、多様な人材が共に活躍できる市民主体の都市づくり

目指すべき姿
 ○多様なプレイヤーが活躍し、市民・地域主体のまちづくりを推進する協働のまち

図2 庄原市における都市づくりの目標と目指すべき姿

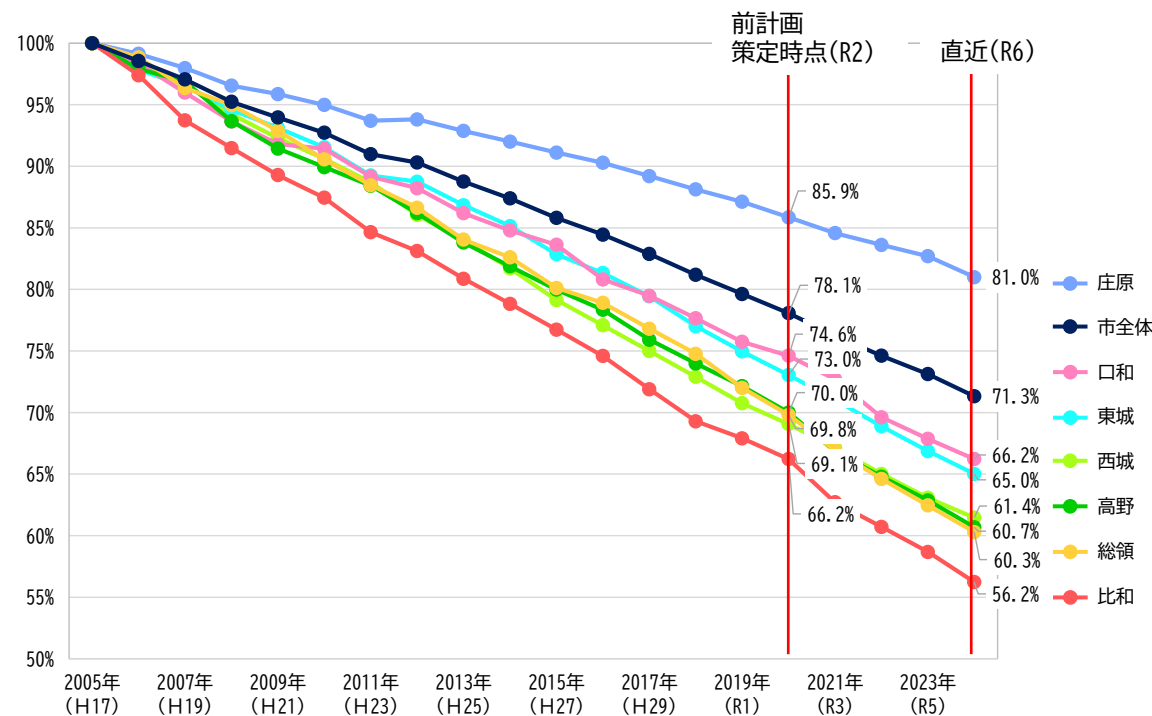
人口と高齢化率の推移

- 総人口は平成27年～令和2年の5年間で3,300人程度減少しており、社人研による推計では令和7年に30,000人を下回る見通しです。
- 地域別の人口は約20年で各地区とも約56%～81%まで減少し、特に山間部の地域では人口減少が顕著になっています。
- このため、公共交通の運転手（乗務員）も含めて、様々な分野で生活を支えるための担い手が不足していくことが懸念されます。



資料：1980年～2020年国勢調査（総人口は年齢不明者も含む）、2020年～2035年国立社会保障・人口問題研究所（各年10月1日時点の推計人口）

図 人口・高齢化率の推移と将来推計



資料：住民基本台帳（10月末時点）

図 地域別の人口減少率（平成17（2005）年を100としたときの指数）

- 庄原地域中心部以外は高齢化率が高い傾向にあります。
- 市内全体でも高齢化率40%を超える地域が多くを占めており、高齢化率が60%を上回る小地域も見られます。

- 市内全体でも高齢化率40%を超える地域が多くを占めており、高齢化率が60%を上回る小地域も見られます。

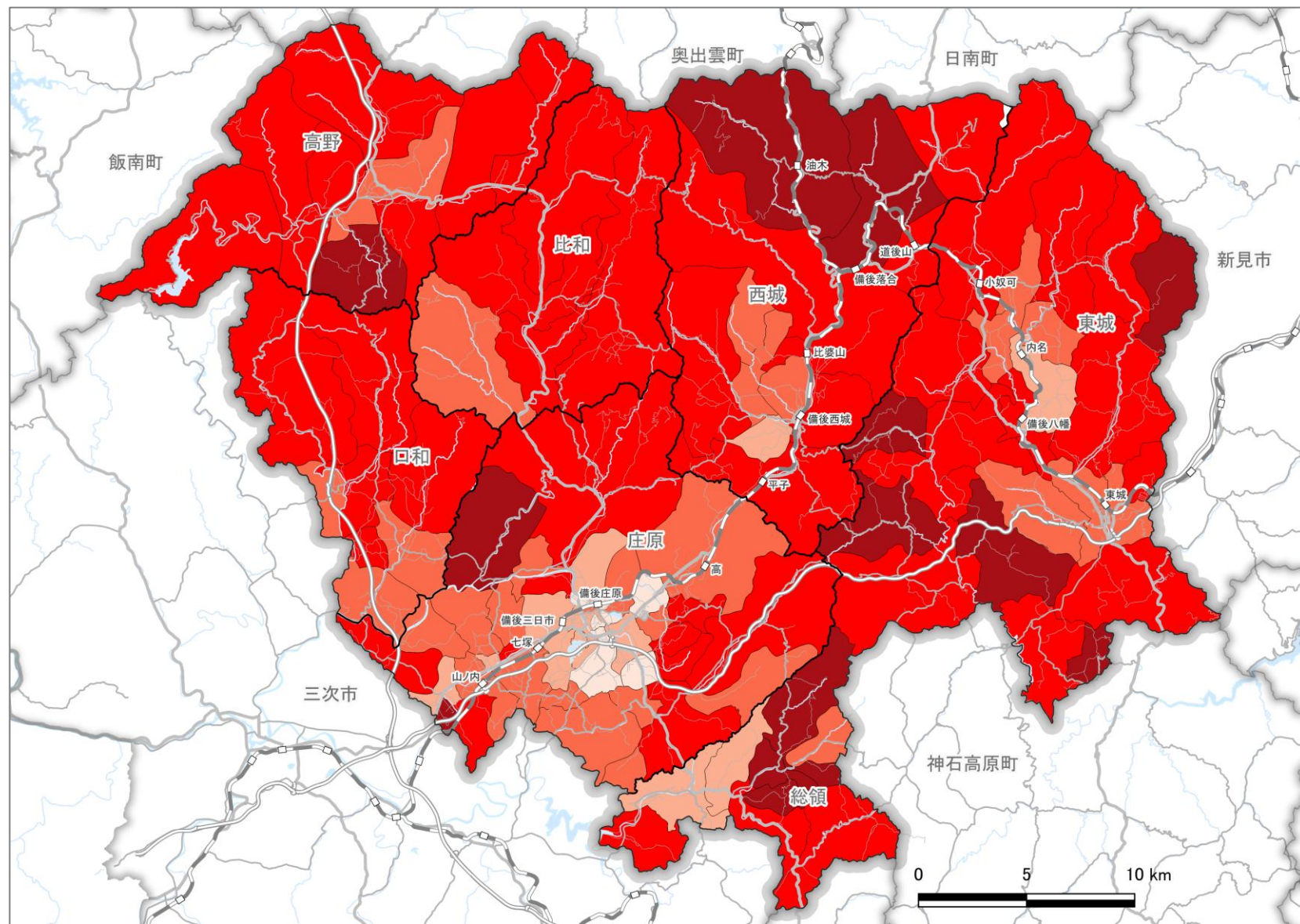
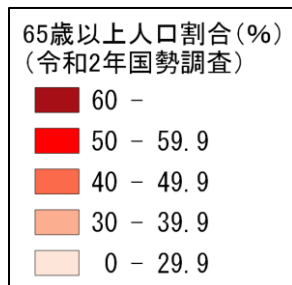
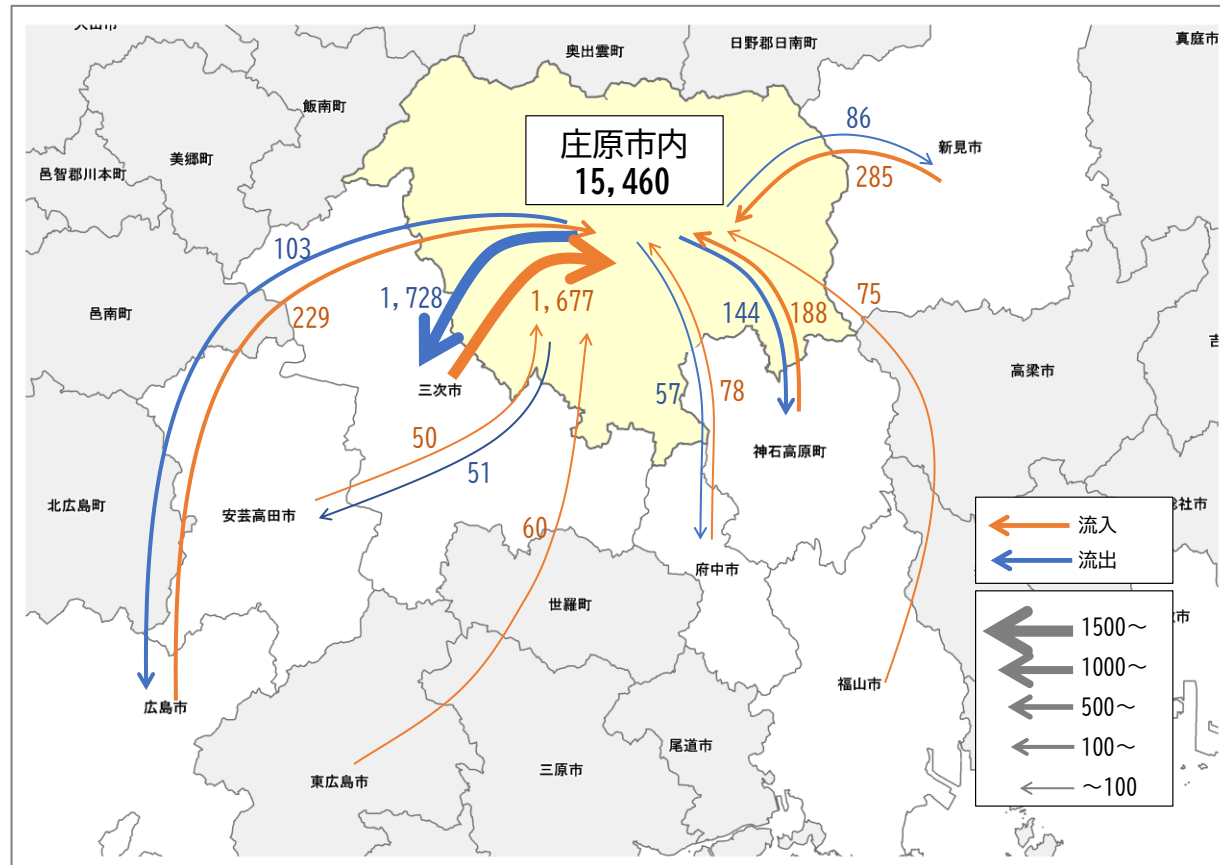


図 小地域別の高齢化率（65歳以上人口の割合）

資料：令和2年国勢調査
(小地域別集計より参照)

通勤・通学における人口流動状況と利用交通手段

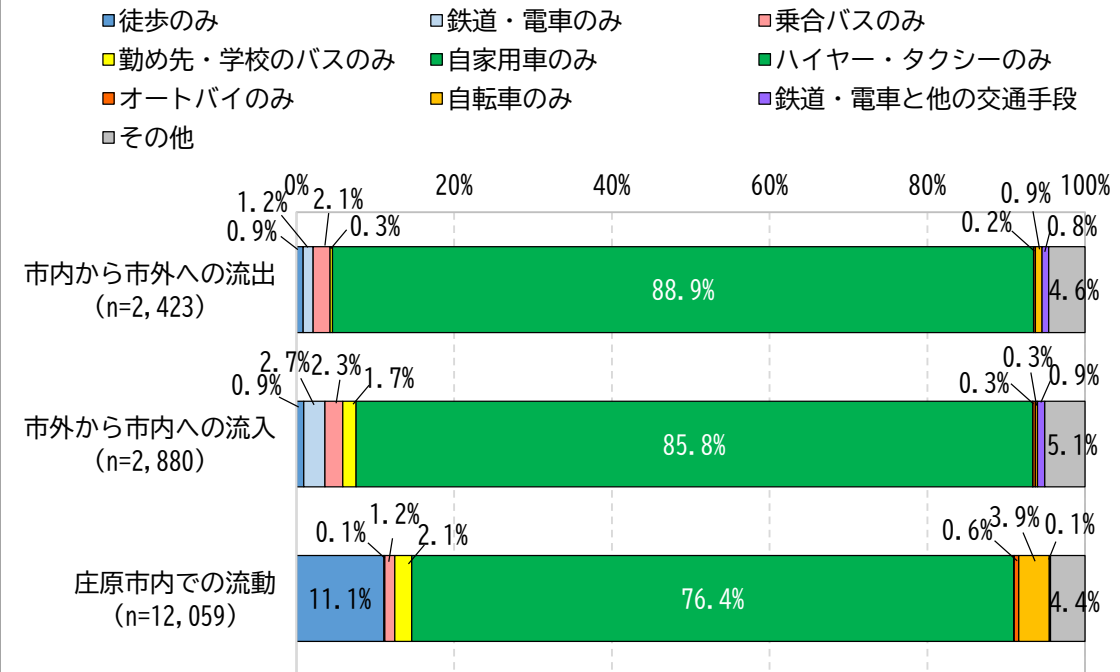
- 通勤・通学においては三次市や新見市といった公共交通の幹線（JR芸備線等）沿線の市町、神石高原町、広島市といった市町との間の交流（人口流動）が見られます。
- 一方、通勤・通学における移動手段を見ると、「自家用車のみ」が多くを占めており、市域をまたいだ人口流動ではその割合が大きくなっています。



※片方向で50人以上の流動がある自治体のみを掲載

図 通勤・通学による人口流動（15歳以上）

資料：令和2年国勢調査



資料：令和2年国勢調査

図 通勤・通学における交通手段（15歳以上）

公共交通の目的地となる施設・拠点の立地状況

- 各地域の中心部に移動の目的地となる施設が集積しています。
- 医療機関はいずれの地域も立地しています。
- 商業施設（スーパー等）について、高野と総領には立地していません。（高野は個人商店と道の駅、総領は道の駅のみが立地）

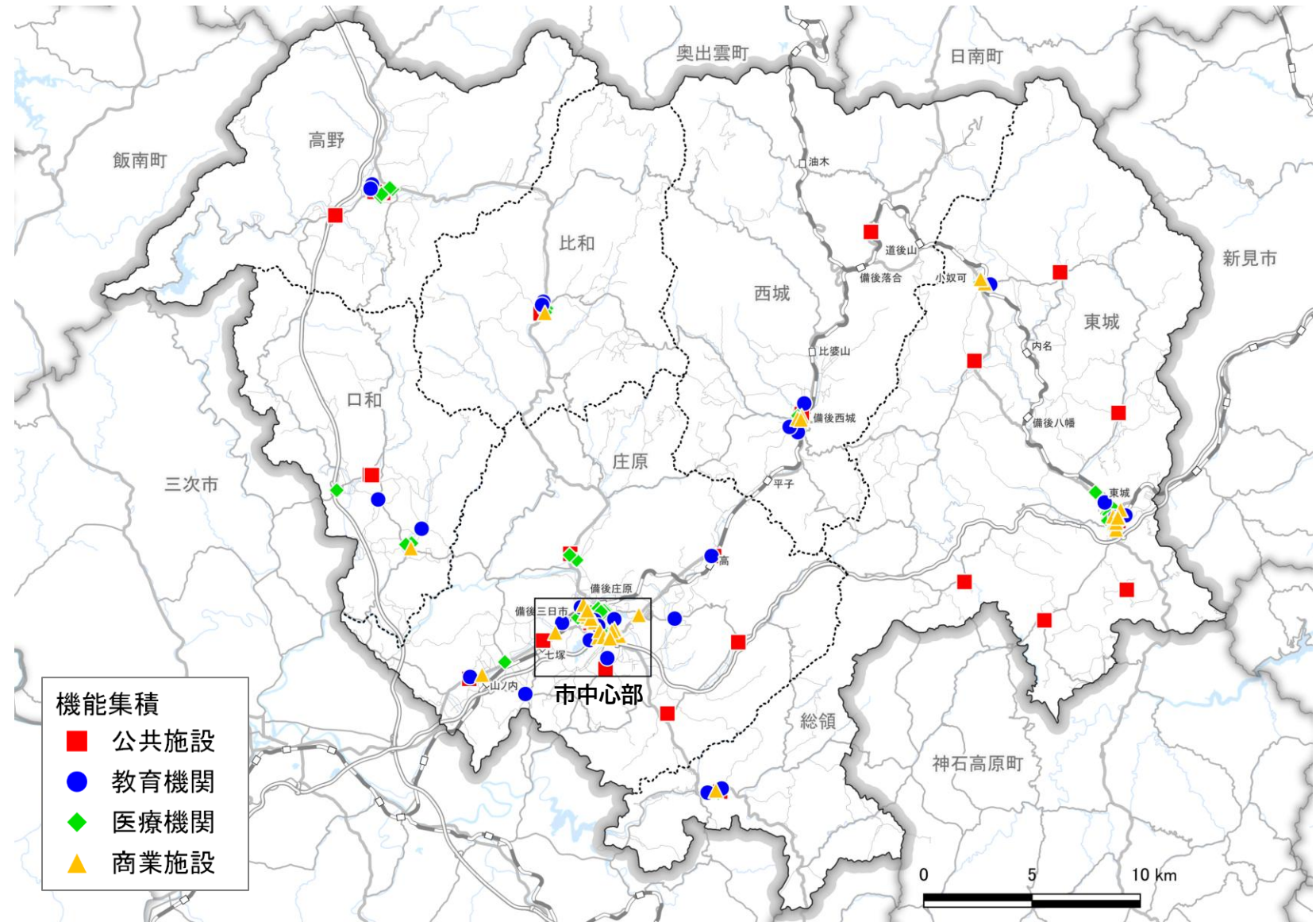


図 公共施設・教育機関・医療機関・商業施設の立地状況

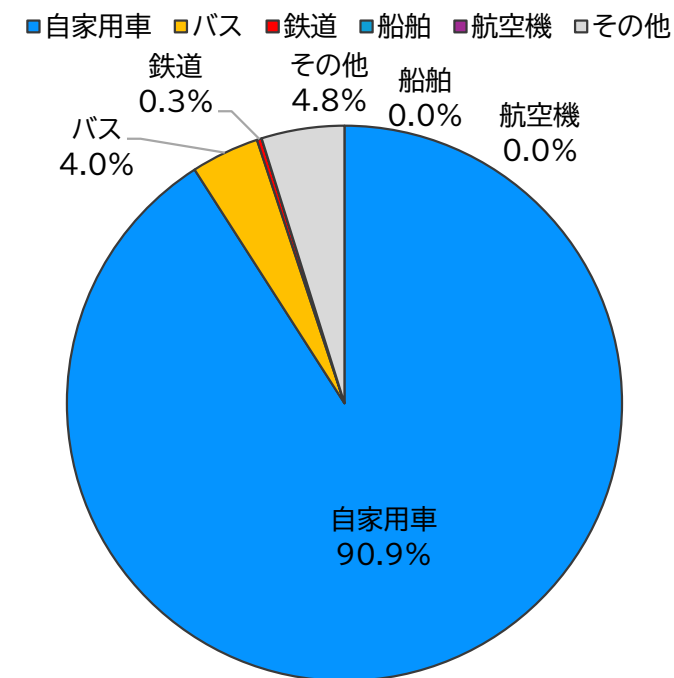


図 庄原市を訪れる観光客の利用交通機関

図 観光資源の立地状況

庄原市で運行する公共交通

- JR芸備線・木次線及び備北交通、生活バス等の路線バスが、周辺市町への移動を担っています。
- 地域内交通は、地域により運行形態が異なっています。（詳細は次頁参照）
- 交通空白地とされる地域には、市民タクシー（青色の網掛け）やこまわりくん（黄色の網掛け）といった自治振興区が主体となった移動手段が運行しています。

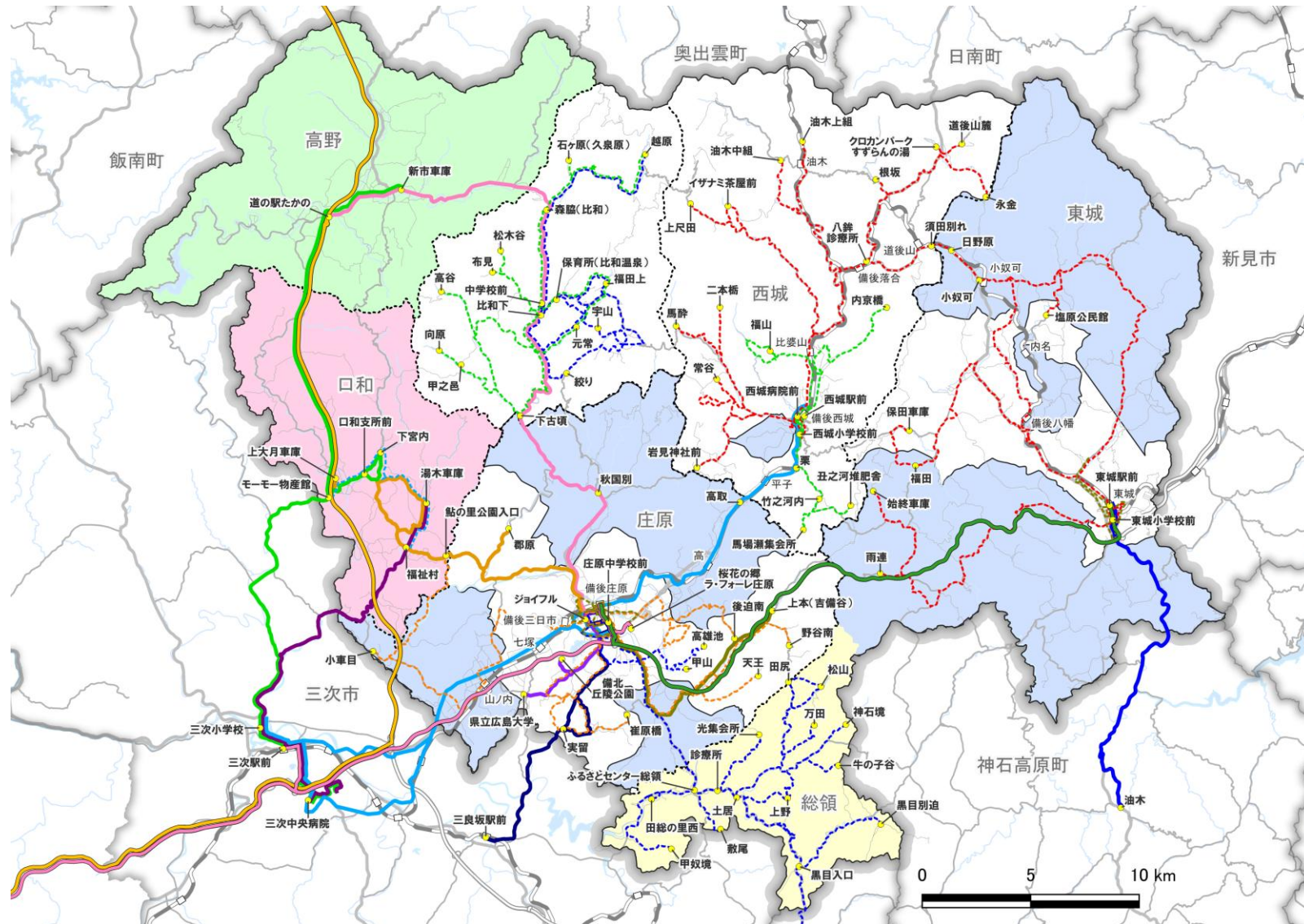


図 庄原市全体の公共交通

— JR芸備線・木次線 高速バス - 庄原広島線 - 東城庄原線 - 広島出雲線 路線バス - 備北交通 三城線 - 備北交通 本村線 - 備北交通 口和線 - 備北交通 湯木線 - 備北交通 下高野線 - 備北交通 高野線 - 備北交通 三良坂線 - 備北交通 県大線 - 中国バス 東廻り油木・東城線	市運行生活交通路線 - 市街地循環バス - 地域生活バス - 市営バス - 廃止代替等バス - 定時定路線乗合タクシー - 予約乗合タクシー 予約乗合タクシー - 口和地域 - 高野地域 - 公共交通空白地有償運送 こまわりくん - 市民タクシー
---	---

庄原市で運行する公共交通

種別	概要	運行事業者	運行地域	経路・ダイヤの設定
高速バス	交通事業者が運行する高速道を経路とする広域路線。	備北交通(株)、JRバス中国、一畑バス	庄原、東城、高野	事業者が決定 (市は要請)
路線バス	交通事業者が運行する一般のバス	備北交通(株)、(株)中国バス	庄原、西城、東城、口和、高野、比和	事業者が決定 (市は要請)
廃止代替等バス	廃止された路線バスの代替として市が事業者により運行するバス	備北交通(株)、西城交通(有)	西城、東城	市と事業者が協議し決定
地域生活バス	路線バス等が運行されていない地域を中心に市が事業者により運行するバス	(有)石田タクシー	庄原	市と事業者が協議し決定
市街地循環バス	市街地内において、生活交通及び観光交通の利便性を向上させるため、市が事業者により運行するバス	備北交通(株)	庄原、東城	市と事業者が協議し決定
市営バス	路線バス等が運行されていない地域を中心に市が運行主体となり、事業者へ運行業務を委託し運行するバス	(有)石田タクシー、比和観光(株)、(株)里山総領	庄原、比和、総領	市が決定
予約乗合タクシー (定路線運行型)	路線バス等が運行されていない地域を中心に市が事業者により委託し運行するタクシー(予約に応じて定路線を運行)	アキタクシー(有)、駅前タクシー(有)、西城タクシー(有)、イクストタクシー(有)、(有)口和タクシー、(株)比和観光	西城、東城、口和、比和	市が決定
予約乗合タクシー (戸口運行型)	路線バス等が運行されていない地域を中心に市が事業者により委託し運行するタクシー(予約に応じて設定した区域内を運行)	高野交通(有)、(有)口和タクシー	口和、高野	市が決定
市民タクシー	自治振興区が事業主体となり、タクシー事業者により運行を依頼し移動手段を確保する事業	各地域のタクシー事業者	庄原、東城、西城	自治振興区が決定
公共交通空白地有償運送(こまわりくん)	非営利団体等が事業主体となり、運行事業を実施	一般社団法人庄原市総領自治振興区	総領	事業主体が決定

公共交通の利用状況

- 公共交通の利用者数は、路線バス（備北交通）の増加によって令和6年度に増加傾向に転じているが、市運行生活交通路線は令和4年度より減少傾向が続いています。
- 市運行生活交通路線（路線バスを除く）の令和2年以降の増減状況を見ると、西城・東城・高野・比和・総領が大きく減少しています。

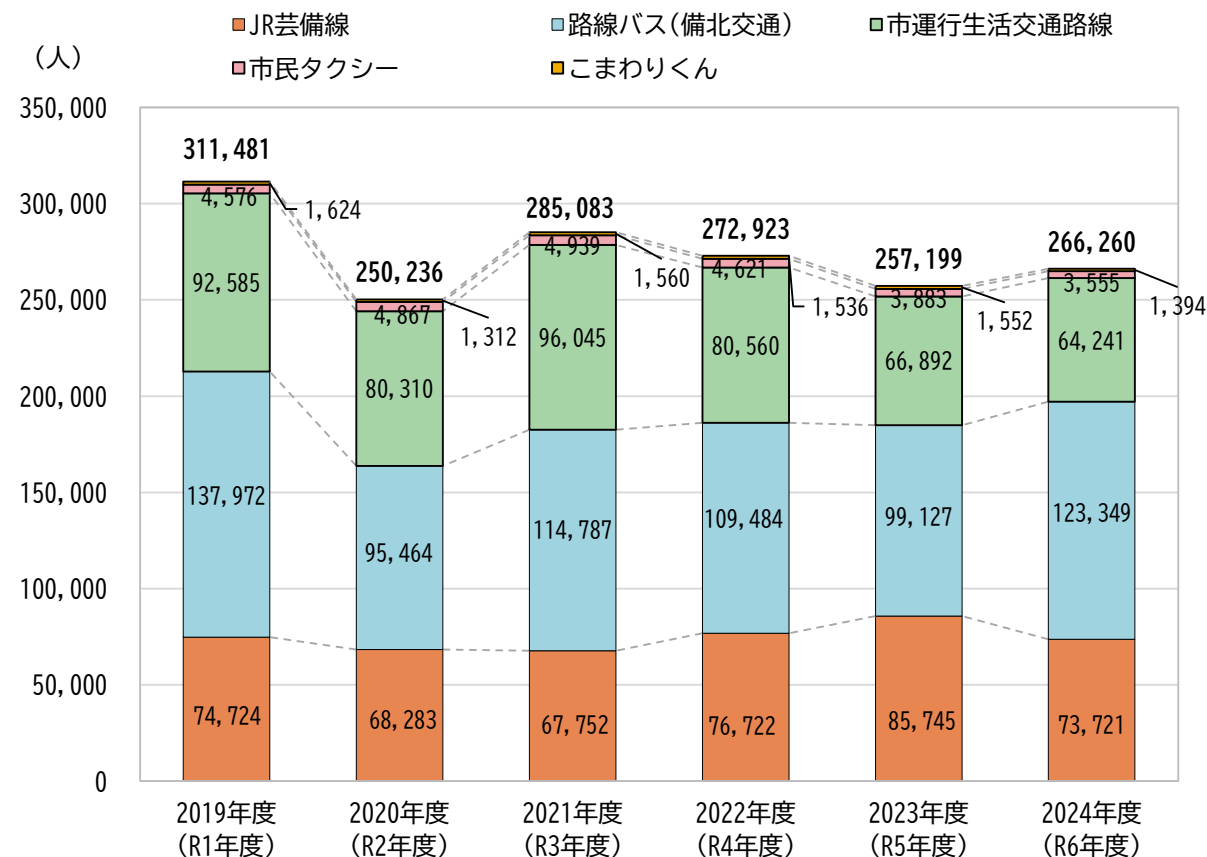
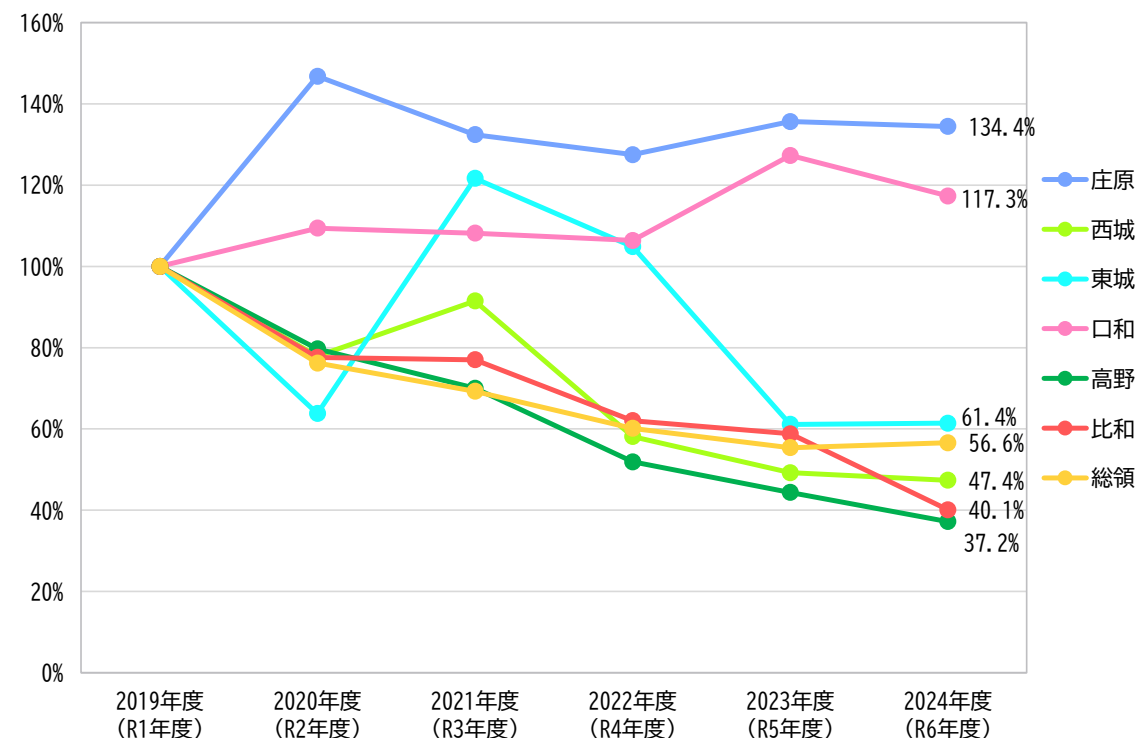


図 公共交通の利用者数の推移

図 路線バスを除く市運行生活交通路線の利用者数の増減状況
(地域別、平成1（2019）年を100としたときの指数)

02 地域と公共交通の現況

公共交通に関わる財政負担額の状況

- 財政負担額は増加傾向が続いており、令和6年度はおよそ3億円で住民一人あたり換算すると9,576円となります。
- 特に路線バス及び市運行生活路線の増加幅が大きく、市民タクシーやこまわりくんは大きな増減は見られない。

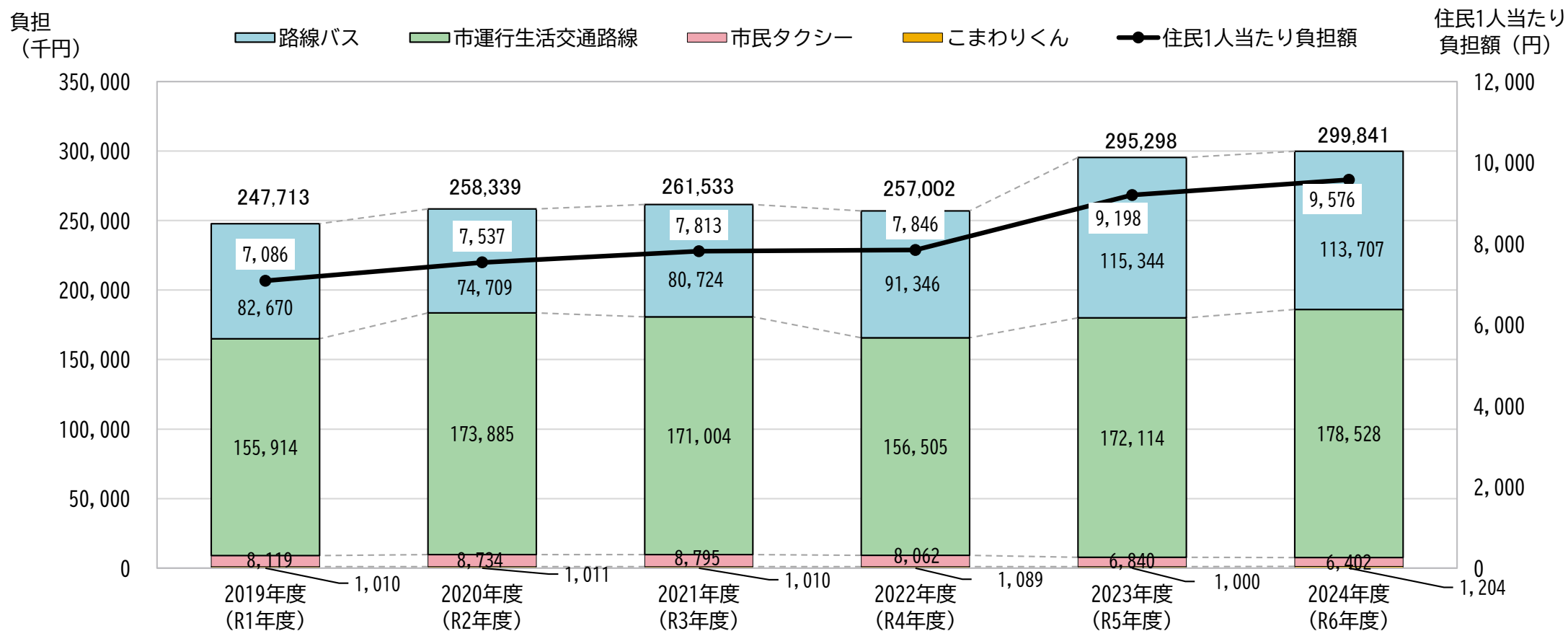
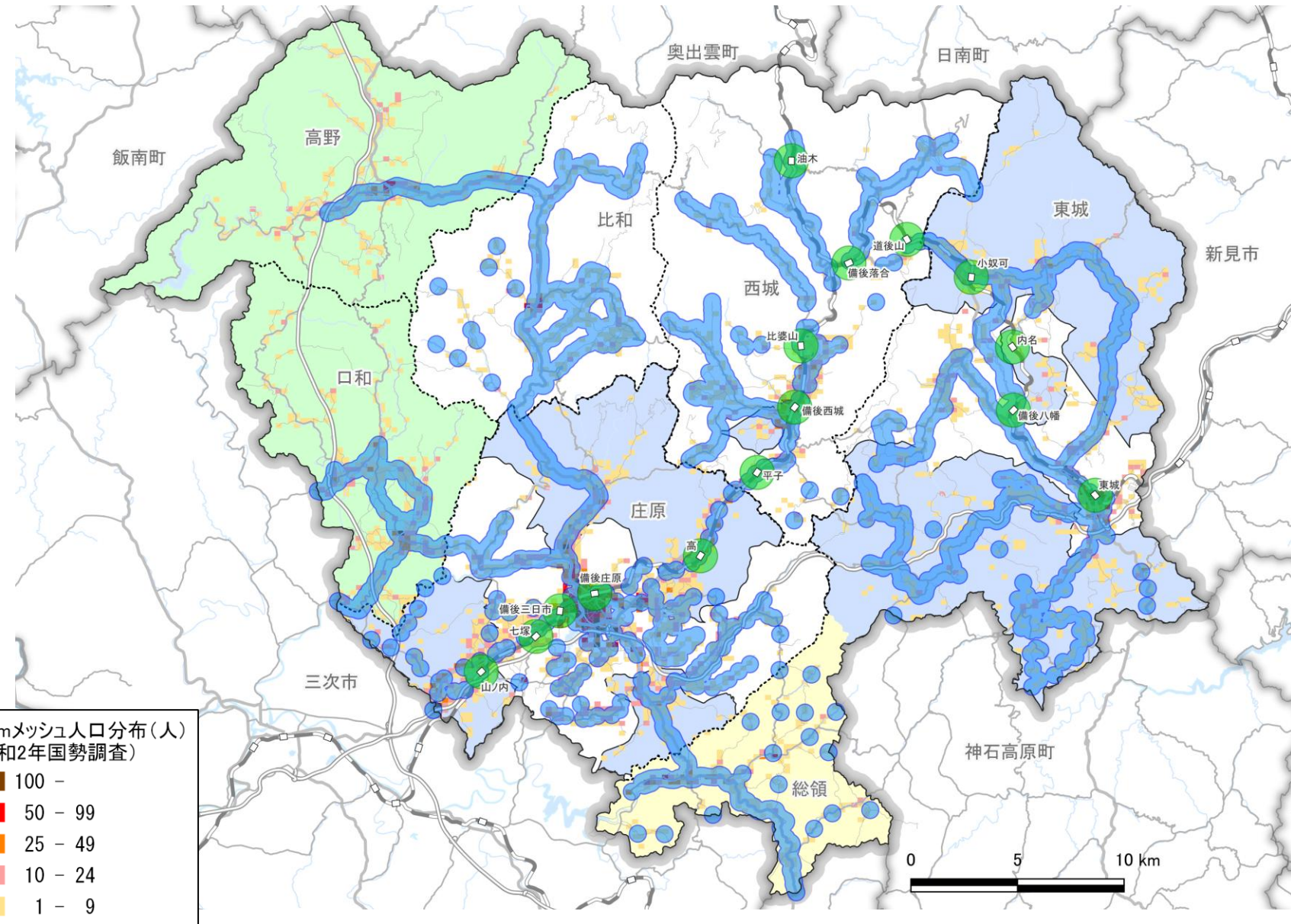


図12 公共交通に関わる財政負担額の推移

- 高野・口和では乗合タクシー、庄原や東城の一部地域では市民タクシー、総領地域はこまわりくんによってバス停から離れた場所に暮らしている人の移動をカバーしています。
- 比和、西城、東城の一部では、少ないながらもバス停から離れた場所に暮らしている人が見られます。



【現状・問題点】

- 財政負担の増大
- 公共交通の現状や問題点に関する市民への情報共有や理解の不足
- 担い手(運転者不足)の深刻化
- 運転者不足を起因とした交通サービスの利便性や市民生活への影響
- 車両の老朽化と修繕費の増加
- 利便性のある公共交通サービス(ダイヤ等)の確保
- 現状の公共交通でカバーしきれない場所に暮らしている人
- 夜間におけるタクシーの休止

【市として認識している課題】

- 財政支出の抑制、公共交通の効率化
- 公共交通に対する理解の促進、情報共有の仕組み強化
- 運転者不足への対応
- 地域公共交通の担い手確保
- 山間部やバス路線から離れた地域の利便性確保
- 新たな需要の掘り起こし等の利用者確保策
- 夜間の交通手段の確保

- 高野地域で運行しているデマンド型乗合タクシー「おでかけワゴン」は、平成25年（2013年）9月から運行しています。
- 現在は事前登録制した人の予約に応じて1日2往復が運行しており、運行範囲は自宅の近くから所定の目的地（道の駅や保険福祉センター等）の周辺としています。
- 令和7年（2025年）1月の見直しでは、複数あったエリアを統合して運行日や乗降できる場所を広げ、スマートフォンでの予約に対応する等して、利便性を高めています。
- 定期的に「おでかけワゴン」を活用した「お買い物ツアー」を地域と交通事業者が連携して開催しています。

2025年1月 リニューアル運行

新運行開始！
ますます便利になりました。

高野デマンド型乗合タクシー

おでかけわゴン

★おでかけわゴンって？

高野の町を走る生活交通「乗り合いタクシー」です。
★子どもから高齢者まで、高野に住所を有する住民全ての方が対象です。

★おでかけわゴンの特徴

○自宅の玄関に迎えに行き、目的地へ送ります。
※目的地は乗車前にお申し付けください。
○足腰が弱く、乗り降りが難しい方はお手伝いします。
○押し車など必要な用具の貸出が可能です。
○便利な10枚回数券の販売があります。

利用手順

① 事前に登録
利用登録申請書を文所に提出し、利用者登録を行います。（登録は無料です。）

② 電話・LINEで予約
例：「今日の9時の便で自宅から高野診療所までお願いします」

③ 自宅から目的地へ
他の利用者の方と乗合になることがあります。

予約するときは

○電話やラインで気軽に予約できます。
○基本、6：15便の予約は、前日の17時までに予約
※発車時間 9:00/10:00便は、当日朝の8:30まで
13：00便は、当日の12:00までに予約できます。
○詳しい発車時刻は、裏面をご確認ください。

【利用予約】
高野交通（有）
86-3848

高野交通（有）

お問い合わせ先：86-3848（8時～17時）
住所：高野町新市1124-2

おでかけわゴンに
乗って出かけよう

QRコードを読み取り友達追加
24時間予約が可能となりました！

顔を見える地域交通を
ゆがじて、頑張っています！

運行概要

予約できる目的地

【現在の目的地】：道の駅、高野保健福祉センター、その周辺
★その周辺とは…医療機関、郵便局、金融機関、図書館、高野支所、上高・下高自治会センター、食料品店、グリーンサーキット高野など。
※行先を運転手にお気軽にご相談ください。
★みんなのでかける楽しさを増やしましょう！（目的地を登録しました）

【上高区域（堀川・和南厚方面）】
・堀川コミュニティセンター・児童会所（堀川・南・新市地域のみの利用可）
・和南厚コミュニティセンター・児童会所・内容（田出）（和南厚地域のみの利用可）
【下高区域（高野・奥門田方面）】
・奥門田児童会所・奥門田児童会所（奥門田・中門田・高野内地域のみの利用可）
・ふるさと利南郷・下門田児童会所・上高児童会所（高野・上高・下高・下門田地域のみの利用可）

毎日運行になりました！

運行日・時間帯

	上高区域		下高区域	
	堀川・和南厚・新市・南		高野・奥門田・上高・中門田・奥門内・下門田	
曜日	往路 （白毛発）	復路 （白毛発）	往路 （白毛発）	復路 （白毛発）
月	6:15 9:00	11:30 14:45	10:00 13:00	12:30 16:00
火	10:00 13:00	12:30 16:00	6:15 9:00	11:30 14:45
水	10:00 13:00	12:30 16:00	6:15 9:00	11:30 14:45
木	6:15 9:00	11:30 14:45	10:00 13:00	12:30 16:00
金	10:00 13:00	12:30 16:00	6:15 9:00	11:30 14:45
土	6:15 9:00	11:30 14:45	10:00 13:00	12:30 16:00

利用料金

★料金 200円/回
（標準利用区間は310円となります）
（障害者手帳・療育手帳をお持ちの方は半額の100円/回）
※その他、外出支援券の利用や未就学児半額制度等があります。
★お気軽にご相談ください。

休憩所

★おでかけわゴンで外出された際、帰りまでの待ち時間に休憩所をご利用ください。
休憩所：高野保健福祉センター
新市自治会館、上高自治会館センター、下高自治会館センター、高野支所

連絡代行

★おでかけわゴンの予約をしてほしい時、電話やラインのお手伝いします。
対象事業所はステッカーを貼っています。
お気軽にご相談ください。

連絡代行・休憩所ステッカー

高野交通（有）

お問い合わせ先：86-3848（8時～17時）
住所：高野町新市1124-2

顔を見える地域交通を
ゆがじて、頑張っています！

▲ 高野デマンド型乗合タクシー「おでかけワゴン」の運行案内

- 総領地域で運行している「こまわりくん」は、平成24年（2012年）4月から交通空白地有償運送（白ナンバーの自家用車を活用した運送）の形態で総領地域内を運行しています。
- 総領自治振興区にあらかじめ登録された会員の方を対象としており、登録ドライバー（現在は13名）が運行を担っています。
- 運行時間帯は平日の8：30～17：30、運賃は1乗車当たり500円です。
- 「こまわりくん」は自宅の近くまでのお迎えに対応しているためバス停から離れた地域お住いの方の移動、町内の診療所への通院等で主に活用されています。

- 総領自治振興区にあらかじめ登録された会員の方を対象としており、登録ドライバー（現在は13名）が運行を担っています。

- 運行時間帯は平日の8：30～17：30、運賃は1乗車当たり500円です。

- 「こまわりくん」は自宅の近くまでのお迎えに対応しているためバス停から離れた地域お住いの方の移動、町内の診療所への通院等で主に活用されています。



▲「こまわりくん」として使用している車両



▲「こまわりくん」の運行開始案内(広報しょうばら)

備北交通の取組

- 学生向けのキャンペーン・割引施策、利用促進を推進しており、学生がお得に利用できる高速バスの定期券や、夏休み期間限定の乗り放題バス等を実施しています。
- JR西日本と備北交通の乗車券が相互利用できるコンビバスや、備北交通及びJRの定期券利用者が短い区間でお得にできるサブスクサービス（ちょこっとパス）等、鉄道と連携した利用促進も進めています。
- 庄原MaaSプロジェクトに運行主体として参画し、地域関係者と連携して新たな移動サービスの運行等を担っています。

庄原への通学、お悩みではありませんか？
新学期は備北交通の高速バスで「**学割**」から通おう！

通学応援！
学割 得々バス

1ヶ月 15,000円

33,600円 → 1ヶ月 15,000円

1ヶ月15,000円（1ヶ月）
1ヶ月15,000円（1ヶ月）
1ヶ月15,000円（1ヶ月）

1ヶ月15,000円（1ヶ月）
1ヶ月15,000円（1ヶ月）
1ヶ月15,000円（1ヶ月）

備北交通株式会社 0824-72-2122 10

備北交通の **バス のり放題** 期間中何回でも！

夏休み子ども **乗り放題 パス 2025**

小学生 1,000円
中学生 2,000円

発売期間 2025年7月11日～8月29日
有効期間 2025年7月18日～8月29日

対象 小学生・中学生
発売価格 小学生/1,000円 中学生/2,000円

発売窓口 三次・三次市交通センター
庄原・備北交通センター
備北交通のローカルバス全線・東郷庄原線（他）

お問合せ：備北交通株式会社 TEL0824-72-2122 86

バスと列車の **コンビバス** 庄原 ↔ 広島

3,830円 → **2,500円**

有効期間 2025年4月1日～2026年3月31日
対象 小学生・中学生
発売価格 小学生/1,000円 中学生/2,000円

備北交通株式会社・JR西日本バス株式会社・JR西日本バス株式会社

社会実験
高校生限定
JR定期券記載駅の
最寄バス停も使える

備北学生応援パス

庄原 → 高 庄原 → 平子 庄原 → 西城
高 → 西城 平子 → 西城

1ヶ月 1,000円 3ヶ月 3,000円

備北学生応援パスとは
「庄原→高・平子・西城」区間のJR定期券を持つ高校生の方向けに、JRの定期券と併用して利用できるお得な乗車券です。

サブスクサービス

通学に・塾に・買物に「ちょこっと」乗れる

学生限定 **バス乗り放題 ちょこっとパス**

CHOCOTTO PASS

庄原エリア 三次エリア 1ヶ月 各 500円 3ヶ月 各 1,500円

ちょこっとパスとは
備北交通定期、JR通学定期をお持ちの学生さん限定！
毎月500円で市内の決まったエリア内で備北交通のバスを乗り放題できる定期券です

庄原MaaS(庄原MaaS検討協議会による取組)

- 庄原MaaSプロジェクトは、庄原MaaS検討協議会（現在40団体が参画）が主体となり、帝釈峡での新たなモビリティ導入、アプリ配車に対応したオンデマンド交通の運行、貨客混載や情報発信の仕組み強化、異なる交通モード間の連携、デジタル技術を活用した生活サービスと交通サービスの連携・統合等、地域課題の解決に向けて多岐に渡る取組を実施しています。
- 直近の令和6年度は、タクシーを含めた夜間の交通空白を補完する目的で、夜型デマンド交通「よるくる」の実証運行を実施しました。
- 令和7年度は、地域の関係者や交通事業者等と連携・協働した「ライドシェアサービス（公共ライドシェア）」の一元的なマネジメント、多様な担い手人材確保の仕組みの構築等に取り組むことを予定しています。



▲ 夜型デマンド交通「よるくる」の実証実験案内 (R6年度)



▲ アプリ配車対応のオンデマンド交通(R2年度)



▲ しょうばらMaaSステーションプロジェクト事業(R4年度)



▲ 路線バスを活用した貨客混載(R5年度)

本日の意見交換について

公共交通の可能性と課題

- まずは、普段ご自身が市の公共交通に対して感じていること、公共交通でできると思うこと、問題点や課題だと思うこと等、自由に意見を出してください
- 本日のこれまでの説明を聞いた感想でも構いません

キーワード

利用者	地域住民	高齢者	高校生	小中学生	観光客	出張者
おでかけ	通勤	通学	通院	買い物	娯楽	イベント
朝	夜	日中	平日	休日	まちなか	旧町部
ニーズ	サービス	待ち時間	使える・使えない		担い手	

公共交通計画で実現したいこと

- 次に「実現したいこと」を考えてみましょう。
- 意見の内容は、「議題その1」に関連することに限らず、庄原市をより良くしていくためのアイデアなどを自由に出してください。

※ ●●に人を呼びたい、外出する人・回数を増やしたい、■■まで便利に行きたい
→ 何の目的で必要か、そのために何が必要か等

キーワード

外出促進

交流促進

にぎわいづくり

拠点づくり

観光振興

通学できる環境

免許返納

観光客

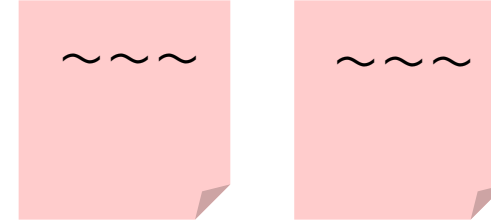
安心・安全

いきいきとした暮らし

ビジネス

付箋と模造紙を使ったワークショップ形式で行います

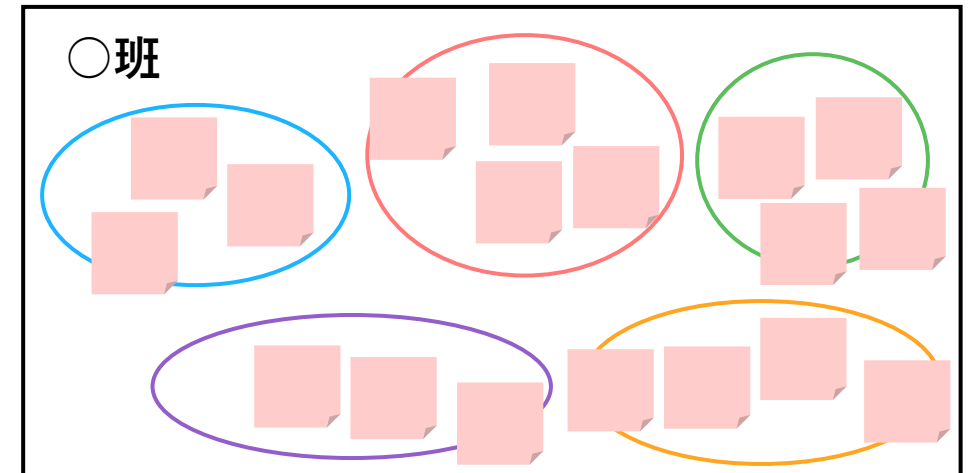
- ① 付箋に自分の意見を記入する（5分程度）



- ② 付箋を模造紙に貼り出して、
書いた意見を共有（15分程度）

その際に新たな意見・アイデアが出てきたら
新しい付箋に書き足してください！

- ③ ファシリテーターが意見を整理、
グルーピング（5分程度）



- ④ ファシリテーターが各テーブルの意見を全体に共有

ワークショップの注意点・留意点

- 1つのふせんには、1つの意見を端的に書いてください
- グループ内の他の人が出した意見はよく聞いて、否定しないようにしましょう
- 他の人の意見を聞いて、あとから追加で意見を出してもOKです

次回(第2回)のワーキング会議について

- 次回の第2回ワーキング会議(8/19)では、地域別の目指すべき姿、理想とするサービス水準、課題解決の方向性等をテーマに予定しています。
- 第2回に向けては、地域別の課題と今回のワーキング会議で皆さまからいただいたキーワードを再度整理し、それを基に地域別にテーブルを分けて意見・アイデアの交換を行うことを想定しています。
- その後、ワーキング会議での検討結果を踏まえた形で、市民アンケート調査の実施します。(9月～10月頃予定)